



平成27年9月30日

各位

上場会社名 株式会社 ダイケン
代表者 代表取締役社長 藤岡 洋一
(コード番号 5900)
問合せ先責任者 取締役総務部長 北脇 昭
(TEL 06-6392-5551)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ27年4月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,200 | 200 | 200 | 120 | 20.43 |
| 今回修正予想(B) | 5,055 | 86 | 97 | 58 | 9.97 |
| 増減額(B-A) | △145 | △114 | △103 | △62 | |
| 増減率(%) | △2.8 | △57.0 | △51.5 | △51.7 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年2月期第2四半期) | 5,122 | 243 | 244 | 165 | 28.23 |

修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、主たる事業の建築関連製品の売上高におきまして、対前年同期比で微減となる見込みであり、新設住宅着工戸数の持ち直しが見られる中、ゴミ収集庫や自転車ラック等が販売を伸ばしたものの、消費税増税による駆け込み需要の反動減が想定していた以上に長引いていることもあり、当初予想よりも若干下回る見込みであります。

利益面につきましては、アルミ製である主力製品が原材料等の高コストが続き、また円安を背景とした利益率の低下も続く中、利益の補完をすることができませんでした。更に東北地方での震災復興需要や首都圏での公共投資、再開発事業等をはじめとする計画の高まりが期待されておりますが、足下の建設市場の増加は限られており、各社シェア獲得のため企業間競争が一層高まるなど、営業利益を押し下げることから、経常利益及び当期純利益ともに大幅に当初予想を下回る見通しとなり、業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、当社は収益集約のウェイトが下半期にあることを鑑み、現段階で第3・第4四半期の業績を見極めることが困難であるため、今後、業績予想の修正が必要となった場合に、速やかにお知らせする予定であります。

また、1株当たり当期純利益が65円を割り込む見込みとなった場合は、配当予想の修正につきましても、速やかにお知らせする予定であります。

(注)これら上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や今後の事業運営における内外の状況等により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上